

沼津土木事務所都市計画課鉄道高架班だより

沼津発⇒未来へ



Facebookページも
「沼津発⇒未来へ」



平成28年3月25日 第12号

発行：静岡県沼津土木事務所



今月の1枝

”冠雪の
富士山”

桜が満開の
香貫山から
のぞむ富士山
です！

沼津の新しいまちづくりが始まっています。「沼津発⇒未来へ」は県と沼津市が共同で進めている鉄道高架事業を含む沼津駅周辺総合整備事業の進捗状況や最新の情報等についてお知らせする広報紙です。

■新貨物ターミナルと現貨物駅の違いについてご紹介します

原西部地区に整備予定の新貨物ターミナルでは、「着発線荷役方式(E&S方式)」という新しい方式が採用されます。

「E&S方式」は、貨物列車が到着した線路(着発線)で直ちに貨物の積み降ろし(荷役作業)を行い、それが終わったらすぐに出発します。このため、荷役作業の時間が大幅に短縮し、輸送の効率化が図られます。

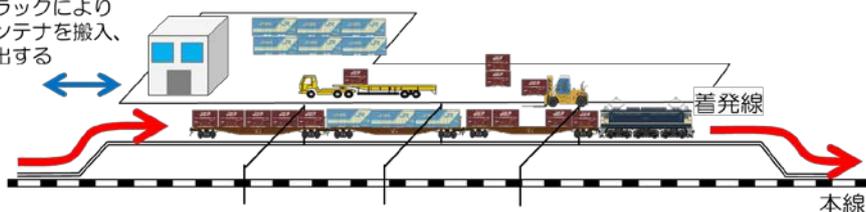
また、作業の効率化により、発生する騒音や振動が比較的小さいというメリットもあります。

一方、現在の沼津貨物駅の「解結荷役方式」は、貨物の積み降ろしに貨車の切り離しや入れ換え、連結などの作業を伴うため、荷役作業に長い時間がかかります。

新貨物ターミナルの荷役方式

・・・着発線荷役方式(E&S方式(Effective & Speedy Container System))

トラックにより
コンテナを搬入、
搬出する

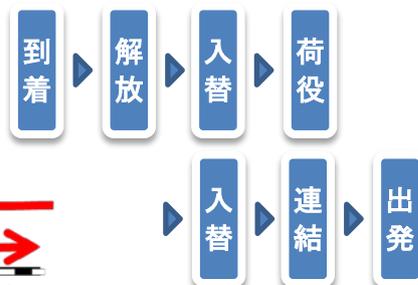
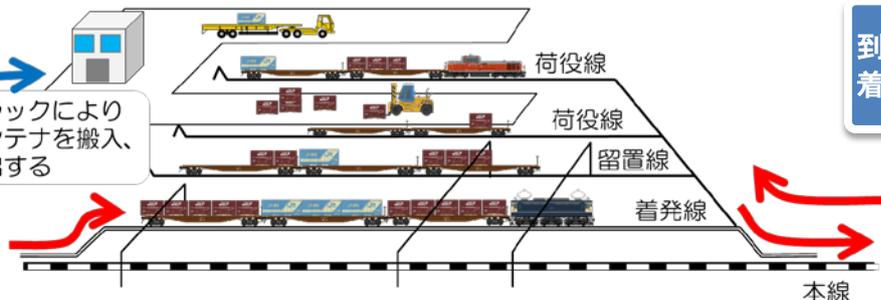


現沼津貨物駅の解結荷役方式と比べて・・・

- 貨物列車が駅に到着した直後から荷役ができるため、駅での停車時間が短い
- 貨車の切り離しや入れ換え、連結などの作業がないため、騒音が少ない
- 施設・設備や線路配線がシンプルなため、面積が狭い
- 折り返し運転が容易→災害時の物流機能確保に大きく貢献・・・次回以降、改めてご紹介します！

現貨物駅の荷役方式・・・解結荷役方式

トラックにより
コンテナを搬入、
搬出する



新貨物ターミナルのE&S方式と比べて・・・

- 施設・設備や線路配線が複雑なため、面積が大きい
- 貨車の切り離しや入れ換え、連結などの作業があるため、騒音が出る

【裏面もご覧ください！】

■ 沼津市からのお知らせ

新しいまちづくり(高架下利用)について 議論を進めています

2月26日に「沼津駅の高架化を実現する市民の会」と市議会の「沼津駅鉄道高架事業推進特別委員会」が合同で、「沼津のまちづくり」を考える高架化先進事例視察報告・意見交換会を開催しました。

この中で市は、高架下利用の概要等について説明した他、「鉄道高架化後の沼津駅周辺のイメージCG動画」を上映しました。

市では、新たなまちづくりに向け、今後も市民ニーズの把握に努めるとともに、県と協力して鉄道高架事業の着実な推進に取り組んでいきます。

＜沼津のまちづくりに対する主なご意見＞

- ・ 高架下に保育園や託児所があると便利
- ・ 商業施設を充実してほしい
- ・ 雨に濡れないよう、高架下の中央に通路、その両側に店舗を整備する形がいいのでは
- ・ 駅周辺に専門学校や予備校などがあるといい



意見交換の様子



高架下利用のイメージ(飲食店)



高架下利用のイメージ(各種ショップ)

静岡県沼津土木事務所 都市計画課鉄道高架班

〒410-0055 沼津市高島本町1番3号

TEL: 055-920-2222・FAX: 055-926-5527

E-mail: numado-toshikei@pref.shizuoka.lg.jp

URL: <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/kouka/>



■ 沼津のまちが変わりつつあります！

沼津駅南口にあるイ〜ラdeの西側で、沼津駅南第一地区土地区画整理事業が進行中です。

この区画の真ん中を東西に貫く道路が都市計画道路「添地西条線」です。現在は暫定的にあまねガードの上を通る立体交差になっていますが、将来、鉄道が高架化されると平面交差になります。

街路の工事が進むにつれて新しい建物もできはじめ、まちの姿が徐々に変わりつつあります。



現在

添地西条線は、イ〜ラdeの手前を通るあまねガードと立体で交差しています。



将来のイメージ

添地西条線は、鉄道高架化後、リコー通りと平面で交差するようになります。

■ よくあるご質問

Q 新貨物ターミナルができると、踏切が全然開かなくなるのでは？
(「原地区まちかどトーク」でいただいた質問)

A 踏切の遮断回数や時間は、列車の通過本数や列車の長さにより変わります。

現在、東海道本線では毎日、上り下りあわせて約140本の電車と約90本の貨物列車が運行しています。原西部地区に新貨物ターミナルが整備されても、列車の運行本数が大幅に増えない限り、踏切の遮断回数はほとんど変わりません。

ただ、新貨物ターミナルに停車する貨物列車は速度を落とすので、ターミナル前後では1回当たりの遮断時間が少し長くなることは考えられますが、現貨物駅で行っているスイッチバックによる貨車の入れ換え作業での、長時間の踏切遮断はなくなります。

沼津市都市計画部 沼津駅周辺整備事務局推進課

〒410-8601 沼津市御幸町16番1号

TEL: 055-934-4768・FAX: 055-934-2310

E-mail: suishin@city.numazu.lg.jp

URL: <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/station/index.htm>